

## 日本薬学会第 144 年会 市民公開講座のご案内

同窓生の皆様

日本薬学会第 144 年会は、2024 年 3 月 28 日（木）から 31 日（日）までの 4 日間、横浜市のパシフィコ横浜で開催されます。本年会は、星薬科大学が運営を主担当させていただきます。本年会に先立ち、市民公開講座を 2024 年 3 月 23 日（土）午後 1 時 30 分より、星薬科大学メインホール（東京都品川区荏原 2-4-41）にて開催いたします。

小幡 英章 先生（埼玉医科大学医学部総合医療センター教授）、佐瀬 一洋 先生（順天堂大学医学部教授）を迎え、「充実した都会生活を送るために最新の健康・医療事情を知ろう！～痛みやがんの予防・治療の進歩」について、ご講演いただきます。

【場 所】 星薬科大学メインホール  
〒142-8501 東京都品川区荏原 2-4-41

【日 時】 2024 年 3 月 23 日（土）午後 1 時 30 分～午後 3 時

【参加費】 無料

【お問合せ】 〒142-8501 東京都品川区荏原 2-4-41  
星薬科大学 日本薬学会第 144 年会事務局  
[nenkai-ssk@hoshi.ac.jp](mailto:nenkai-ssk@hoshi.ac.jp)

なお、参加につきましては、下記にあります日本薬学会第 144 年会・市民公開講座のご案内 HP をよりお申し込みください。

日本薬学会第 144 年会・市民公開講座のご案内 HP  
<https://confit.atlas.jp/guide/event/pharm144/static/shimin>

皆様お誘いあわせの上、是非ご参加ください。

日本薬学会第 144 年会組織委員会  
大会長 星薬科大学 米持 悦生

# 充実した都会生活を送るために最新の健康・医療事情を知ろう！

～痛みやがんの予防・治療の進歩～

／ 入場無料 ／  
日本薬学会第144年会  
市民公開講座

講演

1

## 痛みはもはや我慢するものではない！

～健康を維持し生活の質を下げないための知識～

埼玉医科大学総合医療センター麻酔科・教授 | 小幡 英章

講演

2

## 重要性を増す腫瘍循環器学

～ある循環器医が患者になって実感したがん医療の進歩とサバイバーシップ・ケアの最前線～

順天堂大学大学院医学研究科臨床薬理学・教授 | 佐瀬 一洋

日時

3月23日(土)

2024年 | 13:30・15:00

場所

星薬科大学メインホール

〒142-8501 東京都品川区荏原2-4-41

主催

日本薬学会第144年会組織委員会

後援 星薬科大学・品川区

お問合せ

〒142-8501 東京都品川区荏原2-4-41

星薬科大学 日本薬学会第144年会事務局

E-mail: nenkai-ssk@hoshi.ac.jp

URL: <https://confit.atlas.jp/guide/event/pharm144/static/shimin>

HPよりお申し込みください



公益社団法人  
日本薬学会

科研費



入場無料

日本薬学会第144年会

## 市民公開講座

# 充実した都会生活を送るために 最新の健康・医療事情を知ろう!

～痛みやがんの予防・治療の進歩～

日時 2024年3月23日(土) 13:30～15:00

場所 星薬科大学 メインホール(東京都品川区荏原2-4-41)

司会：高田 薫  
(フリーアナウンサー)

開会挨拶

星薬科大学・学長 | 牛島 俊和

講演 1

## 痛みはもはや我慢するものではない!

～健康を維持し生活の質を下げないための知識～

埼玉医科大学総合医療センター麻酔科・教授 | 小幡 英章



「痛み」は主観的で様々な要因の影響を受けます。体をぶつけた時など明らかな原因がある時に感じる急性痛は、原因がなくなると自然に消失します。しかし急性痛が長引くと、痛みの状態が脳や脊髄に記憶され、同時に私たちに備わっている内因性鎮痛系が弱まってしまう、生活の質を下げる慢性痛となってしまうことがわかっています。また、痛みは本人にしか分からず原因が特定できない場合もあるので、検査では異常がなくてもそれを否定することはできません。このようなケースでは、治療に難渋する慢性痛となる場合があります。そのため、慢性痛を起ささないために急性痛を放っておかないこと、適度な運動やポジティブな思考で内因性鎮痛系を強めることが大切です。本市民公開講座では、そのための知識についてお話いたします。

講演 2

## 重要性を増す腫瘍循環器学

～ある循環器医が患者になって実感した  
がん医療の進歩とサバイバーシップ・ケアの最前線～

順天堂大学大学院医学研究科臨床薬理学・教授 | 佐瀬 一洋



高齢化と医療の進歩に伴い、がん患者だけでなくがんサバイバーの数も急増しています。その中で、分子標的薬や免疫療法などの新たな治療法から顕在化した様々な心血管疾患への対応が急務となっています。腫瘍循環器学は、心血管リスクを有するがん患者や心血管毒性が知られる治療法に対応するために、多職種連携を重視して患者中心の医療を担う分野です。そのために、エビデンス・ギャップを埋める診療ガイドラインの作成や、教育・診療・研究の新たな方向性を世に示しています。本市民公開講座では、循環器医でありがんサバイバーでもある演者の経験を踏まえ、がん医療の進歩を概説します。さらに、腫瘍循環器学の観点から、がんと共生する社会の構築におけるサバイバーシップ・ケアの最前線について議論します。

フリーディスカッション

主催 日本薬学会第144年会組織委員会 後援 星薬科大学・品川区

お問合せ

〒142-8501 東京都品川区荏原2-4-41 星薬科大学 日本薬学会第144年会事務局  
E-mail : nenkai-ssk@hoshi.ac.jp  
URL : <https://confit.atlas.jp/guide/event/pharm144/static/shimin> HPよりお申し込みください



公益社団法人  
日本薬学会

科研費